

## 設立趣意書

国土交通省では、ICT等を用いた効率的な建設を目指す「i-Construction」を平成28年度から推進しており、ICT施工については、直轄工事で対象になり得る工事のうち約8割で実施され、延べ作業時間が約3割縮減するなどの効果が現れている。

ICT施工には、起工測量・設計データ作成・施工・監督検査・維持管理といった段階があり、各段階で異なるソフトウェアが使用されている。段階毎に異なるメーカーのソフトウェアが使用される場合、段階間での円滑なデータ交換が困難であることが、ICT施工のさらなる生産性向上の課題となっている。

異なるソフトウェア間でのデータ連携を行う手段の一つにAPIがある。現在、市場では特定のソフトウェアベンダー等が独自でAPI仕様を策定し、一部のソフトウェア間でデータ連携を実現するにとどまっている。また、公共工事において発注者に納品されるデータを効率的に連携させるためには、受発注者双方が利用できるデータストレージが必要との指摘もある。

こうした状況を受け、ICT施工で作成されるデータの連携を推進し、ICT施工の各段階間で円滑なデータ交換を実現することで、ICT施工のさらなる生産性向上をもたらすことを目的として「施工データのAPI連携に関する協議会」を設立するものである。